

人橋を架ける

塩原勝美・鵜飼俊吾・村山壮人 著

起業・独立 次にくづく立志の若者へのメッセージ

オイルショック、バブル経済、リーマンショック……社会の大変動を身をもって体験し、乗り越えてきた3人の中小企業経営者が、その戦いの歳月と、次代を担う若者たちへのメッセージを語り尽くします。起業や独立を目指す人に贈る、必携書。

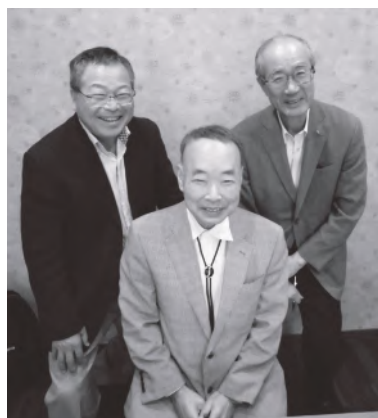
目次

- 第一章 自分の気持ちに正直に生き抜いてきた 塩原勝美
- 第二章 受けた恩は「恩返し」「恩送り」、それを次世代へ
鵜飼俊吾
- 第三章 一度きりしかない人生 村山壮人
- 第四章 鼎談 たった一度の人生、自分の人生は自らの手で
切り開くしかない

起業・独立 次にくづく立志の若者へのメッセージ



著者略歴



*左から村山壮人、鵜飼俊吾、塩原勝美

塩原勝美 トップ・ビジネスサポート株式会社 代表取締役

昭和18年(1943)、群馬県前橋市に生まれ、高校卒業後上京。大手証券会社営業職を経て、昭和46年(1971)、東京都千代田区神田にコミュニケーション・メディア事業会社を創業。その後、この地を基盤に時代に先駆けた斬新なアイデアを基に、数多くの事業を展開。長年蓄積したビジネスノウハウを経営コンサルティング活動に生かす。若手起業家を「生み・育てる」活動をライフワークとして、起業・経営の関係書籍を多数出版。

鵜飼俊吾 昭和測器株式会社 代表取締役

昭和14年(1939)岐阜県瑞浪市に生まれ、岐阜県立瑞浪高等学校在学中、家業の炭鉱業が倒産。進学を諦め、就職。昭和37年(1962)単身で名古屋市へ出向き警備装置の販売会社を設立するもわずか3年で倒産。昭和43年(1968)追われるようにして上京、同業種の会社へ就職する。そこで安岡正篤先生の聲に接する機会に恵まれ、人生観が一変する。

村山壮人 株式会社山根電設 代表取締役

昭和19年(1944)新潟県津南町に生まれ、14歳で上京。中3から大卒まで8年間仕送りなしで過ごした。日本で初めての事業「警備請負」の現・セコムで10年間勤務。団体職員、原子力発電所建設会社の労務管理、総務関係を経て昭和62年(1987)起業し現在に至る。電気工事を主とする建設業としてエレベーター関連事業とセキュリティを担当。趣味は落語、書道。特技は指一本の音楽「指笛演奏」。生活信条は「自分にできることを、精一杯やる」。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発行：全国編集プロダクション協会 (JEPA = ジェパ) 発売：三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	塩原勝美・鵜飼俊吾・村山壮人 [著] 人橋を架ける 起業・独立 次にくづく 立志の若者へのメッセージ 280頁 / A5判 / 並製 定価 2,250円(税別) ISBN978-4-86487-799-2 C2034
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。